

初心者でも大丈夫! 着崩れしにくくキレイに仕上がる、基本の着付け方を徹底解説。

ひとりでできる、ゆかた着付け講座!

ゆかた着付編

- 1 ゆかたをはおり裾のラインを決める 2 身体に合わせて上前の幅を決める 3 下前を合わせ余った分は折り返す 4 つま先上がりにな上前を合わせる 5 腰紐を腰骨の上で締める



和装ブラをつけ和装肌着を着てからゆかたをはおる。衿先の少し上を持ち、くるぶしが隠れるくらいの位置に裾のラインを決める。



左の衿先を持ち、上前の端を右の腰骨の位置に合わせて、上前の幅を決めておく。この時「1」で決めた裾のラインが下がらないように注意!



上前の幅をずらさないよう一度広げ、つま先を少し上げて左の腰骨の位置で下前を合わせる。余った分は外側に折り返しておく動きやすい。



Point!
つま先を上げる!

上前はつま先を少し上げ、下前にかぶせて右の腰骨の位置に合わせて、ずれないように左手で押さえておく。



上前を押さえたまま右手で腰紐の中心を持ち、右の腰骨に当てて前から背中に回したら、お尻の上で交差させキュッと締める。

- 6 腰紐を片花結びにする 7 おはしゅりを整える 8 衿の位置を決めて衣紋を抜く 9 左右の衿を合わせる 10 2本目の腰紐を結び



腰紐は右脇で片花結び(片側だけが輪になる結び方)にし、余った腰紐の端は、はさみ込んでおく。



※身八つ口
左右の脇の穴の部分
※おはしゅり
布を重ねてゆかたの丈を調節する部分

左右の身八つ口から手を入れ、中央から左右に滑らせるようにして前後のおはしゅりを整える。



※掛け衿
衿が二重になっている部分

Point!
握りこぶし1つぶん!

※衣紋
後ろ身頃の衿の部分。
「衣紋を抜く」とは、
首と衿の間に隙間を作ること

片方の手で、左右の掛け衿を合わせて持ち、反対の手で背中心を引いて衿の位置を決めたら、握りこぶし1つぶん衣紋を抜く。



左手を身八つ口から入れ下前の衿を持ち、上前の衿を左手で持って衿の合わせ目をノドのくぼみの中央に合わせる。この時「8」で作った衣紋がずれないように注意して。



腰紐の中心を右胸の下くらいにあて、後ろで交差させキュッと締める。右脇で片花結びをし、腰紐の端は、はさみ込むように注意して。

- 11 背中に寄ったシワを整える 12 シワを両側に折り込んで整える 13 腰紐の上からだて締めを締める 14 だて締めを体の前で巻き付ける



Point!
背中のシワは左右に伸ばす!

腰紐を結んだ時、背中に寄ったシワは左右に伸ばして脇に集める。前にできたシワも同様に。



脇に寄せたシワは、目立たないように両側に折り込み、腰紐にはさみ込むようにして整える。



※おはしゅり
布を重ねてゆかたの丈を調節する部分

腰紐の上からだて締めをあて、後ろに回して背中で交差させキュッと締める。キツく締めすぎるとおはしゅりが崩れるので注意して。



だて締めは前で2回巻き付けてから逆方向にねじり、余った端はだて締めの間にはさみ込む。



完成!

シワやゆるみのないキレイな着付けができた!

Point!

- 衿が身体の中心で合わさっているか?
- おくみ線(上前の切り替え)が曲がっていないか?
- 裾がややすぼまった状態か?